# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要

令和4年度

## 2. 分野別状況（2）地域活性化総合特区 ②ライフ分野

| | 総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算） | Ⅰ 目標に向けた取組の進捗 | Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 | 総合評価に係る専門家所見（主なもの） |
|---|---|---|---|---|---|
| 群馬がん治療技術地域活性化総合特区<br>（群馬県） | 3.9 | 4.8<br><br>進捗度<br>・重粒子線治療技術の難治がんへの応用<br>100%<br><br>・医療・ヘルスケア産業振興<br>104%<br><br>・医療系人材の育成<br>95%<br><br>・事業化人材の育成<br>120% | 3.3<br><br>規制の特例等<br>・高精度重粒子線がん治療技術開発事業<br><br>・総合特区支援利子補給金<br><br>地域独自の取組<br>・医療機器・介護機器等事業化支援補助金<br><br>・医療・ヘルスケア関連事業化支援補助金<br>等 | 3.8 | ・これまでの医療産業振興の取組が雇用者数の上昇とつながっていることは評価できる。<br><br>・事業の核となる重粒子線治療において一定の進捗が得られていることは評価に値すると思われる。今後の治療普及に向けての取組を期待したい。<br><br>・活動内容が少人数の専門職育成や事業者への研究開発費用の支援等、一部に限られており、特区の特徴を活かしているか疑問が残った。<br><br>・評価指標(1)では、過去年度の遅延があった中でも目標の登録を完了できた点を一定の成果として評価したい。<br><br>・評価指標(3)「医療人材の育成」が目標に未達であるが、評価書の要因分析にあるとおり、人数が少数であること・次年度の候補者／予定者がいることなどから、全体としては順調であると評価できる。 |